

総務大臣 殿

岩見沢市長 松野 哲

事後評価報告書（再評価）

無線システム普及支援事業等補助金交付要綱補足事項の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

1. 事業概要

- (1) 工事完了日 : 令和2年1月22日
- (2) サービス開始日 : 令和2年3月1日

2. 目標達成状況

指 標	目 標 (目標年度)	実績値				
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年 9月末時点
地域 BWA サービス 加入世帯数	498世帯 (令和4年度)	11	47	52	52	50
5G の技術検証が 可能な環境整備に より連携を図る大 学・農機メーカー 等の実証に関する 取り組み件数	実証数 3種類/年 (令和4年度)	0	5	5	2	0
	実証に関する 取り組み件数 10回/年 (令和4年度)	0	16	7	24	18
地域 BWA 基地局 開設数	10箇所 (うち、補助対象関 連基地局5箇所) (令和元年度)	10箇所 (うち、補助対象関 連基地局5箇所)				
5G 基地局開設数	1箇所 (うち、補助対象関 連基地局1箇所) (令和元年度)	1箇所 (うち、補助対象関 連基地局1箇所)				

(参考)

提供可能回線数	利用回線数 (SIM発行枚数)				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年 9月末時点
500	11	54	59	71	69

3. 中間評価を踏まえて実施した取組

【地域 BWA サービス加入世帯数】

- ・R5年7月 新プラン提供開始 (防犯カメラプラン、レンタルプラン)

4. 評価

【地域 BWA サービス加入世帯数】

・FWA サービスの利用者については、概ね BWA サービスへ移行が完了した。地域 BWA サービスについては、周知・販促活動等を継続して実施しているが、新型コロナウイルス感染症拡大により、各地域での説明会が実施できなかったことなどの要因もあり、目標達成には至っていない。また、令和5年度中に FTTH 未整備エリアの全域整備が東日本電信電話株式会社により実施される見通しでもあることから、家庭向けインターネット接続サービスについてはユーザー獲得における競合が避けられない状況である。

・中間評価以降、新たに新プラン提供の開始によるユーザー獲得に取り組んでいるところであり、引き続き、屋外利用が可能であることやデータ通信量が使い放題 (他の民間サービスで設けられているようなデータ通信量超過による通信速度制御を設定していない) というサービスの強みなどを活かし、新プランや新たな利用シーンの実証、具体的なユースケースの周知・啓発により民間サービスとの差別化を図りユーザー獲得の取り組みを継続していく。

【5G を活用した実証・取り組み件数】

・主に国事業を活用しながら、スマート農業を中心とした実証に積極的に取り組み、概ね目標を達成した。引き続き本事業により構築した 5G をはじめとする情報通信基盤活用のもと取り組みを推進していく。

【地域 BWA 基地局開設数】

・無線基地局開設計画に記載しているとおり、令和2年2月に10箇所開設した。

【5G 基地局開設数】

・無線基地局開設計画に記載しているとおり、1箇所開設した。開設時期については、工事引渡後に株式会社 NTT ドコモ北海道支社と IRU 契約を締結したことから、令和2年3月に開設した。

